



会より さくら だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第70号 2025年7月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <https://shinagawa-sakurakai.or.jp>

品川区立月見橋在宅サービスセンター

5月10日土曜日、月見橋在宅サービスセンターで初となる「こどもまつり」を開催しました。

多世代交流を目的として「利用者が活躍できる場」を地域の子供たちと一緒に作りました。お店屋さんをやっている子供たちを優しく見守り、サポートする利用者の姿や、「寄ってこって」と呼び込みをする利用者の姿が印象的でした。

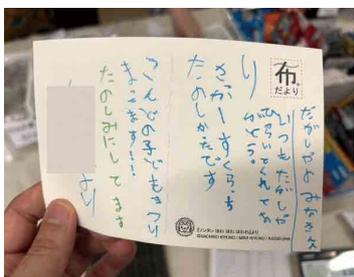
品川区認知症啓発キャラクターの「くるみちゃん」との再会シーンにみんなが笑顔になれたこどもまつりでした。



また、当事業所では毎月駄菓子屋をしています。常連の子供たちも多く、こどもまつり当日は子供たちの宣伝のおかげでおおよそ130名の方が来てくださり、大盛況でした。

今回の開催にあたっては、地域の皆さま、ボランティア、スケッターの方々等、多方面からのご協力をいただきま

した。年代を超えて多くの人たちの笑い声が響きあう素敵な初夏の午後を私達も過ごすことができました。



こどもまつり

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム

(大井林町倶楽部)

5月11日、初夏の陽気の中、大井林町会の「こどもまつり」が開催されました。大井林町倶楽部も町会の一員として毎年参加させていただいています。

大井林町倶楽部では、施設の見学会を行うと同時に、ボランティアさんのお力を借り、小物づくりのワークショップを開催しました。この日は「母の日」。こどもたちは一生懸命に母の日のプレゼントを作っていました。

今年の目玉は品川区が特別区で初めて導入した「トイレトラック」の展示。断水時や停電時でも1300回水洗トイレが使えるという頼もしい車です。



ほかにも消火器体験や太陽光パネルの展示、フラレールで遊べる広場やヨーヨー釣り、ポップコーンの提供が行われ、

イベント終盤には「くるみちゃん」も登場。こどもたちの元気な声があふれるこどもまつりになりました。



新任挨拶

品川区立大井林町高齢者住宅

所長 五十嵐正幸



4月から、品川区立大井林町高齢者住宅の所長に就任しました五十嵐正幸と申します。

さくら会が開設した平成12年に入職し、これまで皆様に喜んでいただけるよう一所懸命につとめてまいりました。

これからも、住宅の皆様、地域の皆様に喜んでいただけるよう精進してまいります。

南大井訪問看護ステーション

所長 大笹 勝典



4月から、南大井訪問看護ステーションの所長に就任しました大笹勝典と申します。

今まで、病院（同法人内の教育機関にも所属）・クリニック・訪問看護ステーション等で働き、現在に至ります。

それらの経験から、今、大切だと思つのは基本・基盤・一人ひとりのふつうです。みなさまのふつうに少しでも添えるよう努めて参りたいと思います。何卒よろしくお願ひ申あげます。



所長就任と新たに採用された職員を紹介します

 <p>ケアセンター南大井 介護職 佐々木 翼</p> <p>2月よりさくら会で常勤として勤めることになりました。他施設での介護の経験を活かして利用者に寄り添った介護を提案できるような努めていきます。</p>	 <p>ケアセンター南大井 通所リハビリテーション 介護職 石戸 勉</p> <p>昨年10月に入職しました。送迎業務など、初めて経験し、緊張することありますが、新鮮な気持ちで取り組みんでいます。よろしくお願いします。</p>	 <p>ケアセンター南大井 通所リハビリテーション 理学療法士 金輪 貴之</p> <p>南大井が地元で、施設目の前の小学校に通っていたこともあり、こちらに就職させていただきました。精一杯頑張らせていただきますのでよろしくお願ひします。</p>
 <p>ケアセンター南大井 介護職 長谷部 拳大</p> <p>昨年の10月から常勤職員として2階で勤務している長谷部拳大と申します。利用者一人一人に合った介護の提供が出来る様、精進致します。</p>	 <p>ケアセンター南大井 介護職 秋元 萌香</p> <p>常に学びの気持ちを持ち、利用者一人ひとりにあったケアを行えるようになります。わからないこともたくさんありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。</p>	 <p>ケアセンター南大井 看護職 神澤 寛美</p> <p>この地域に越して20年目を迎え、地域交流で我が子達がお世話になったさくら会での就職が決まりご縁を感じております。地域に恩返しできるような精一杯努めてまいります。</p>
 <p>南大井第二在宅介護支援センター 介護支援専門員 合中 晴美</p> <p>4月よりさくら会に入職しました。利用者が地域で安心して暮らすことができるよう、支援させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	 <p>南大井第二在宅介護支援センター 介護支援専門員 高橋 優乃</p> <p>みなさまとのご縁を大切にしながら仕事に精進してまいります。地域のみなさまに貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。</p>	 <p>南大井第二在宅介護支援センター 介護支援専門員 市川 香</p> <p>「両親の役に立つ私でありたい」という思いから介護支援専門員になりました。新しい環境・仕事内容で、学びを楽しみながら精進してまいります。</p>
 <p>品川区立大井林町地域密着型 多機能ホーム 介護職 中村 翔空</p> <p>さくら会の実習がきっかけで「ここに来たい」と思いました。好きなことは、スポーツ・運転なので声を掛けて貰えると嬉しいです！</p>	 <p>品川区立月見橋在宅 サービスセンター 介護職 岡部 富美子</p> <p>介護の現場で働くのは初めてで戸惑うことが多くあります。利用者が安心して過ごせるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。</p>	 <p>南大井第二在宅介護支援センター 介護支援専門員 阿部 慎太郎</p> <p>施設や訪問介護での経験を活かし、思いに寄り添える支援を大切にしていきます。まずは話しやすい、相談しやすい姿勢や雰囲気を作ります。</p>

事業計画発表会開催

令和7年5月14日、社会福祉法人さくら会南大井事業部による事業計画発表会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実に6年ぶりの開催となりました。



第一部では、前田理事長の挨拶に始まり、福島常務理事からは「事業部全体の抱負」として事業部全体の方向性を説明いただきました。

また事業部からは、ケアセンター南大井入所部門と南大井訪問看護ステーションからICT機器の活用実践について、熱意ある発表が行われました。



第二部では、永年勤続者表彰や部長賞の授与、新入職員の紹介も行われ、職員の士気を高める機会となりました。

第二部終了後には、第三部として懇親会が開かれました。久しぶりの開催を喜ぶ笑顔があふれ、終始なごやかな雰囲気の中で、参加者一同が楽しい時間を過ごしました。



新入職員を迎え

同期の絆を紡ぐ

4月1日、さくら会では新しい仲間を7名迎え、新たな年度を迎えました。また、同日および翌日の2日間、この1年間に入職をした職員の内14名を対象に『新入職員研修』を実施しました。



初日の昼食後、参加した職員たちは記念写真を撮影した後、さくら会の「法人理念と行動指針」についてのワークを行いました。個人ワークで、特に感銘を受けた行動指針とその理由を纏め、その後のグループワークで、それぞれの考えを述べ合い、グループとして特に大切にしたい行動指針をみんなで選び、選んだ理由を含め代表者が発表しました。

最後に、撮影した写真の裏に3年後の自分へのメッセージや目標を記し、タイムカプセルに収めました。タイムカプセルは3年後、「タイムカプセル開封式」で開封します。

開封式にはみんな揃って参加し、今日のことを懐かしく振り返ることができなことを願いつつ、穏やかな雰囲気の中、ワークの時間は終了しました。



(さくら未来プロジェクト)

うんちと宇宙は つながっている!?

ひとは食物を摂取して排泄します。その排泄物のひとつであるうんちは、約75〜80%は水分で、残りの20〜25%が固形部分（食べカス・腸内細菌・はがれた腸粘膜等）となっています。その水分の割合が多くなると軟らかくなり、少なくなると硬くなります。



さて、日本の緯度・経度は、おおよそ北緯20度から45度、東経120度から150度となっています。そして地球は自転と公転をしており、自転軸は公転軌道面に対し約23.4度傾いています。

そのため、日本では四季という季節の変化が生じます。夏は暑く湿度が高く冬は寒く乾燥します。暑かったり乾燥したりすると、からだから水分が失われやすくなります…

あれ、季節とからだと水分とうんち…あれ、季節と日本と地球と宇宙…

そうですね！それはすなわち、うんちと宇宙はつながっているのです！

訪問看護ステーション 大笹 勝典

林町高齢者住宅入居者随時募集

品川区立大井林町高齢者住宅

品川区立大井林町高齢者住宅は、京浜急行鮫洲駅から徒歩5分、JR大井町駅から徒歩10分のところにあります。目の前には大井公園があり、緑が多く、子供たちの元気な声も聞こえます。

毎日24時間、職員が常駐し、緊急時対応などの生活支援サービスを行っております。



季節のお飾りづくり

事会」などを行っております。

また、自主活動として「書道」「囲碁」「麻雀」「UNO」なども行われております。

住戸は、単身者用・2人用がございます。どちらも、随時募集を受け付けております。

申込資格は、さくら会ホームページにてご案内しております。

ご不明な点がございましたら、住宅担当へご連絡ください。

☎03-5495-7080

(9時〜17時土日祝含)



安否確認訪問

憩いの場大井林町では、居住者たちが自由に参加される「はつらつ体操」「季節のお飾りづくり」「お食

連載NO.29

…専門職に聞く…

事務職 桑原 正幸

Q1 仕事の内容

総務部会計係にてご紹介いたします。会計係では、法人のお金の流れをしっかりと記録・管理・情報伝達することを担当しています。

具体的には、予算の取りまとめ、資金の管理、財務報告書の作成、助成金や補助金の申請、監査対応、関係組織への財務状況報告などを行っています。

Q2 専門職として心掛けていること

基本は正確で透明性のある会計処理を行うことです。また、社会福祉法人の会計業務では、資金の運用管理がとて重要で、そのため、日々、財務状況を正確に把握し、迅速に報告することで運営に貢献できるよう心がけています。

Q3 利用者、読者に向けてメッセージ

直接お会いする機会はないですが、会計の仕事を通じ、縁の下の力持ちとして「さくら会」を支えることが、利用者の皆様へのより良いサービス提供に繋がれると思います。これからもよろしくお願いたします！



次回10月号は

理学療法士「浅沼 慎吾」さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0003 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和7年10月です。